

審議会意見(令和2年2月5日開催)と回答

○第2期香美市まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案)について

<第2章>

P	審議会委員からの意見・質問等	関係部署	関係部署回答
4	「短期・中期・長期の目標人口」の表の短期目標が「2020年」で「5年後の人口」となっており、第1期の短期目標のままなので、「2025年」とするか、2020年の実数を入れるなどしないと整合性がとれないのでは。	企画財政課	人口ビジョンで掲げている年次において目標人口を実現するために、本計画は第1期から実施しており、引き続き第2期においても目標人口は変えずに実施いたします。素案の表記では整合性がとれないため、人口ビジョンから引用するという表記へ変更いたします。

<基本目標1>

P	審議会委員からの意見・質問等	関係部署	関係部署回答
6	「土佐打刃物や伝統工芸品であるフラフについて、…」 法律上では土佐打刃物は国の伝統工芸品で、フラフは県の伝統的特産品なので表現の整理をするべき。	商工観光課	「国指定の伝統的工芸品である土佐打刃物や高知県の伝統的特産品であるフラフ…」と修正いたします。
6	KPI「地場産業後継者数:5年間で8件」 「後継者数」なので「8人」の方が良いのでは。		「8人」に修正いたします。
6	「フラフ」 項目としては掲げているが、具体的な事業が入っていない。 大事な地場産業なので今後検討してもらえれば。		香美市ものづくり会議において、フラフの振興を目的とした取組の実施及び新たな取組の検討を進めております。今後、本計画に適する事業を実施する場合は、追加させていただきます。
7	「光通信を活用したIT企業の誘致」 「光通信や最新ITを活用した企業の誘致」の方がターゲットを広げられ、Society5.0もあてはまり、商店街だけでなく、ITを活用した農業などの方向性も含まれるのでは。		ご意見いただいたとおり、修正いたします。
7	KPI「主要4施設観光入込客数:R1年 291,829人→R6年 300,000人」 全体の数字は増えていく設定だが、アンパンマンミュージアムなどは減少傾向にあり、龍河洞の増加に伴ったものになっているのでは。それぞれの地域の特色を生かした観光の振興という視点を持って取り組んでほしい。		やなせたかし記念館アンパンマンミュージアム周辺、べふ峡温泉周辺等、地域の観光資源をつなげ、地域の特色を生かした観光振興に取り組み、滞在型の観光ゾーンを形成していきます。
7	「体験型観光」 龍河洞のこししか書かれていないが、昔からある暮らしをそのまま体験する里山体験などが各地で人気が出ており、そういう視点も入れて物部の豊富な観光資源を磨き上げていくと、地域の人達の出番につながるため、中山間地域の特色を活かした観光を集落活動センターも活用しながら行っていくと良いのでは。		体験者数の大部分を龍河洞が占めるため、「龍河洞を中心に推進」という表現としましたが、従来の塩の道ウォーキング等の体験型観光も推進していきます。また、べふ峡温泉を拠点とした物部町エリアでの体験型観光(いざなぎ流・山菜狩り・田舎寿司作り・里山体験)についても調整中です。さらに新たな体験型観光資源を発掘し、活用する活動を支援します。

P	審議会委員からの意見・質問等	関係部署	関係部署回答
7	「空き店舗等利活用事業」 近年、山田の商店街に新規開店の店が増えてきているが、同時に空き店舗がなくなっており、せっかく助成金があるのに空き店舗がないため使えないという状況なので、空き店舗の掘り起こしも事業内容に加えてはどうか。	商工観光課	追加させていただきます。
8	「企業立地の推進」 これまでの5年間の取組で成果につながらなかったが、今回も同じ内容になっているので、例えばKPIを人数ではなく、可能性がある企業への営業の件数などにしてみるのはいかがでしょうか。		今後も高知県と連携しながら、企業誘致に取り組んでいきます。なお、KPIに關しましては、「企業立地促進奨励金事業」であることを鑑み、第1期総合戦略同様の「テクノパーク工業団地の立地企業の新規雇用者数」にさせていただきます。

<基本目標3>

P	審議会委員からの意見・質問等	関係部署	関係部署回答
12	KPI「児童医療費助成事業の対象範囲の維持」 KPIを「対象範囲の拡大」とし、高知市以外は15歳までにはなっているので、現在できていない18歳まで拡大して、5年間で実現させる目標にしてはどうか。	市民保険課	県内で18歳まで拡大している市町村はありますが、当市の財政状況とサービス拡大(事業)の優先順位を考えますと、今後5年間の目標に「対象範囲の拡大」を入れるのは難しいと思われます。
13	KPI「全国学力・学習状況調査」 ・学力テストの活用の仕方として、地方行政の計画の評価指標に用いることの妥当性はあるのか。 学力テストのKPIの設定が順位を何番にするかという出し方ではないが、「平均プラス5P」などが結果としてそのようなことに繋がりがねないという懸念がある。 ・バカロレア教育など他とは違う教育を取り入れているため、子ども達の自発力が育っているかなど他とは違う視点を入れても良いのでは。例えば、実際に子ども達が教育環境でどのように感じているかなど意見を聞いてみてはどうか。 ・「教育環境の充実」を学力だけで捉えるのはどうなのか。他市町村も参考にしつつ、もう少し香美市らしさが出て良い項目なのでは。	教育振興課	現在、学習指導要領で求められている学力は、知識を基盤として生活や社会で使える力です。昨今、「学力観」が大きく変化しており、これまでの「知識を問うテストで高得点をとること」＝「学力が高い」とは言えない時代になっています。そのため全国学力学習状況調査においても、経験や体験と関係づけて考える活用問題(小6問題例:冷蔵庫を購入する際、年間の電気料金と冷蔵庫本体の比較検討する)が出題されています。このような学力をつけるうえでは、子どもたちが課題を見つけ、その課題を解決するために、PCや図書資料を活用したり、校外に出かけて調べ学習を行い、解決の糸口を見つけることが重要です。そのための教育環境として、国際バカロレア教育のプログラムの活用、情報教育の充実を図るためのICT支援員の雇用、図書の整備、外部試験の活用、支援センター支援員の雇用など、教育環境を充実させることで、求められる「学力の向上」に取り組んでいます。以上のようなことから、KPIに「全国学力・学習状況調査」を用いることは妥当であると考えます。

<基本目標4>

P	審議会委員からの意見・質問等	関係部署	関係部署回答
15	<p>KPT「自主防災組織率:100%」</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治会単位での組織率では、自治会に入っていない方がたくさんおり、実際災害が起こった時にその方達はどうするのか。 防災会に入っていない相当数の市民を視野の外に持っていった方がいいのか。100%にするとそこで止まってしまうので、大変危険である。 自治会に入っていた要援護者の方が高齢を理由に退会する場合もあり、共助しないといけないうちの方が出ていってしまう現状もあるため、その点についても検討してもらいたい。 	防災対策課	<p>香美市では、地域の繋がりを活かし自治会を一つの単位とした防災会の結成を推進しております。</p> <p>その一方で、自治会・防災会に未加入で、防災活動に参加するキッカケがない方も居られることは把握しており、共助の輪を広げていくことが課題となっております。</p> <p>南海トラフ地震のような大災害時の公助には限界があり、地域住民の皆さまによる共助が重要であることから、自主防災組織への補助事業や各種研修を通じて多くの市民の皆さまが助け合う環境づくりを推進いたします。</p> <p>また、要配慮者につきましては、避難行動要支援者の「個別計画」作成を福祉事務所で進めており、行政・自治会・防災会や福祉関係機関と連携・協力し、要配慮者を支援する計画づくりを進めております。</p>
15	<p>KPI「防災士資格取得者:5年間で150人以上」</p> <ul style="list-style-type: none"> 防災士の資格を取るために受講の申込みをしたところ、抽選に外れてしまったが、目標と対策はどうか。 香美市では防災士の連絡協議会が最近立ち上がったが、防災士の資格を取るのも大事だが、その先につながることも大事である。 	防災対策課	<p>高知県が主催する「高知県防災士養成講座」に対し、受講定員数の増員を要望しており、抽選に外れた方につきましては、次回以降に優先的に受講ができるとの回答をいただいております。</p> <p>また、昨年10月に結成された香美市防災士連絡会につきましては、地域防災力の担い手として、今後のご活躍を期待しているところであり、継続的に支援し防災士の方々に活躍いただくことで、本市の自助・共助の普及・啓発に繋げていきたいと考えております。</p>
16	<p>前回「工科大の卒業生が定住することがこの戦略なのでは」という質問をしたが、総務省が出した5歳刻みの人口移動によると、全体では社会増だが、20～24歳が減っており、おそらく工科大生が転出したと予測され、より具体的に踏み込んだ対策や施策を掲げるべきでは。その年齢層がキーポイントで、大学があるまちの活かし方をどうするか。</p> <p>商工会と工科大学が連携して地域担い手セミナーを開催し、高知市内にインターン就職した実績などもあるので、何らかのつながりを持っておくべきでは。追加で書き込めることがあれば検討してもらいたい。</p>	<p>商工観光課</p> <p>企画財政課</p>	<p>高知県立山田高等学校や高知工科大学の卒業生の香美市での定住を促すために、企業誘致に力を入れ、雇用の場を創出できるよう、取り組んでいきたいと考えております。</p> <p>また、高知テクノパークは「高知工科大学」との連携を可能した大学隣接型工業団地であることから、この点の活かし方についても、関係機関と協議を進めていくよう考えております。</p> <p>香美市・高知工科大学連携協議会にて、高知工科大学卒業生が香美市に留まるように、今後も継続的に具体的な施策を検討していきます。</p> <p>高知県では第2期総合戦略において、県内大学の県内就職の促進として、①学生が企業を知る場の提供、②保護者に対する情報提供、③インターンシップなど企業等と直接接する機会の提供、④奨学金を活用した大学生等の県内定着の促進を施策としており、県と連携しながら本市内の就職率向上に努めたいと考えています。</p>